



R7. 2. 28

長瀬小学校

保健室

2年生 特別号

2月7日(金)の授業参観では、いのちのたんじょうについて、一緒に学習しました。お母さんのおなかの中でどのように大きくなり、どのように生まれてきたのかを知ることができました。また、赤ちゃんの人形を抱っこしてみたり、エプロンで妊婦体験したりしたことで、命の重みやお母さんの大変さを実感したようです。

子どもたちの感想(原文のまま掲載しています)

- 生んでくれてありがとう。がんばってくれてありがとう。にんしんたいけんを試してみただけど、すこしおもかったです。
- 280日もおなかにいるのがはじめてしりました。
- 母さんきょうまなんだことをよくしれて 母さんもがんばったなと思いました。母さんもかぜひかないようにきをつけてください。いつもがんばります。
- わたしはあかちゃんのさいずは3mmだとおもってたけど0.14mmだったのがおどろきました。羊水でプカプカうかんでいるのがわかりました。
- おかあさんたいけんをしておもったのが、おもかったです。ママはそれよりもおもいものをやってたのかとすごいとおもいました。
- あかちゃんのおもさもおもかったです。
- わたしをうんでくれてありがとう。
- わたしのことをずっとたいせつにしてくれてありがとう。これからもよろしくね。

おうちの方の感想

- 産まれた頃からの写真を見て「大きくなったな」としみじみ感じました。命の大切さを感じる機会になったと思います。
- 0.1ミリから約5000倍に成長して無事に生まれ、今学んでいることがキセキであることを改めて実感し、両親共に心から感謝しています。
- 産まれたときから今までを振り返り、自分の成長と親の愛を感じる事ができたら良いと思いました。
- 子どもがおなかにいた時のことを思い出しながら話を聞く事ができました。

ご参観いただきまして、ありがとうございました。